

「次世代育成力」の強化を目指す看護系大学教員向けレベル別FD研修プログラム  
令和7年度 レベルⅢ研修 次世代育成力強化の方向性共有  
実施要項

## 1. 開催の趣旨と目的

あらゆる分野でこれまでのしくみや制度を覆すような深淵かつ広域な変化が進む中、医療・介護分野においても、次々にイノベーションが生まれています。これからの看護職には、人々の持つ多様な力をテクノロジーと結びつけ、個人および社会のWell-beingを実現する、これまでになかった役割の発揮が求められるようになるでしょう。

このような急激な環境変化に創造的に適応し、臆せず、柔軟な発想で新たな看護の役割を果たすことのできる次世代の看護職育成に向け、看護学教育は、今、変革期を迎えています。この変革を推進するため、千葉大学大学院看護学研究院附属看護実践・教育・研究共創センターでは、全国の看護系大学教員の「次世代育成力」を重層的に強化するレベル別体系的FD研修プログラムを、令和6年度よりスタートいたしました。

### 看護系大学教員の次世代育成力を重層的に強化する レベル別体系的FD研修プログラム



レベルⅢ研修は、次世代育成力強化の方向性を看護系大学教員の皆様が共有できるよう、毎年、医療・介護分野の環境変化と看護の新たな役割、教育改革の動向に関するトピックをテーマに掲げ、オンラインデマンド講義の形式で開催します。令和7年度のテーマは、「生成AI・ChatGPTの進化と教育現場での理解」です。

看護系大学においては、多くの看護教育上の課題が存在します。このような状況の中で、新しいデジタルデバイスを利用した魅力的な教材の開発や教育の展開が進行しています。生成AI、具体的にはChatGPTは様々な教育上の課題解決を行うための有用なツールとして2023年に脚光を浴びましたが、安全性や、活用に関する情報が十分に浸透していないのが現状です。この機会に、参加者が自身の組織内で直面している課題を解決するための方法を学び、安全かつ効果的に生成AIを使用して課題を解決するための活用方法を、レベルⅢ研修で深掘りしていきます。

目的（1）医療・介護分野の環境変化と看護の新たな役割、教育改革の動向を理解する。

（2）看護教育・研究においてイノベーションの創造が求められる看護教育や看護実践の中で、課題解決のための生成AIの活用方法の基礎知識を習得する。

（3）教育上の課題を生成AI（ChatGPT等）を用いて安全に、分析・解決するための方法を学ぶ。

## 2. 研修内容と方法

時期	研修内容と方法
8月20日（水）～	<p>□第1回オンデマンド講義</p> <p>・「不確実な時代における教育改革の潮流～OECD Learning Compass2030を中心～」 講師 下郡啓夫 教授（函館工業高等専門学校一般系）</p> <p>《内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 不確実な時代の到来とウェルビーイングの重要性</li> <li>2. OECD Learning Compass 2030 の全体像</li> <li>3. 変革を起こすコンピテンシーの3要素</li> <li>4. 知識・スキル・態度・価値観の統合的育成</li> <li>5. コンピテンシー基盤型への転換が進む看護教育</li> <li>6. 看護教育における学習者のエージェンシー育成</li> <li>7. 看護教育におけるAARサイクルの活用</li> <li>8. 結論：不確実な時代における看護教育の未来</li> </ol> <p>・「生成AI・ChatGPTの進化と教育現場での理解」 講師 森武俊 教授（東京理科大学先進工学部機能デザイン工学科）</p> <p>《内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. GPT-4以降の進化（マルチモーダル化、高度推論機能など）</li> <li>2. 教育・医療分野での国内外の活用事例</li> <li>3. 生成AIの特性、リスク（バイアス・幻覚など）</li> <li>4. AIリテラシー・倫理的配慮</li> <li>5. プロンプト設計の教育的可能性 など</li> </ol>
10月20日（月）～	<p>□第2回オンデマンド講義</p> <p>・「看護教育における課題解決のための生成AIの活用方法（各論）」 (令和7年度新規収録)</p> <p>講師 大塚知子 講師（千葉県立保健医療大学看護学科） 東辻朝彦 助教（千葉県立保健医療大学看護学科）</p> <p>《内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ChatGPTのはじめ方</li> <li>2. ChatGPTを便利に使うコツ</li> <li>3. 事務作業における活用</li> <li>4. 研究における活用</li> <li>5. 教育における活用</li> </ol> <p>□（視聴後）事後アンケートの提出</p>

## 3. 受講対象者

看護系大学の教員ならびに、医療機関において継続教育、学生教育などに携わる方。

なお、内容は生成 AI 活用の初心者～中級者向けの内容となります。

活用をしてみたいが、安全な使い方について興味関心のある方に参加いただけます。

#### 4. 受講料

無料

#### 5. 受講定員

定員なし

#### 6. 応募方法

(1) web 申込みとなります

(2) 本センターホームページ (<https://www.n.chiba-u.jp/center/>) のレベル別研修レベルⅢ

申し込みフォームより令和7年8月19日(火)までにお申込みください。

#### 7. 受講に関するご案内

順次、応募者本人にメールでご案内します。

#### 8. 受講料

無料

#### 9. 注意事項

大規模な地震・風水害・降雪・事件・事故・疫病等により、研修の開催が困難であると主催者が判断した場合、全てあるいは一部のプログラムを中止することがあります。

#### 10. 個人情報の取り扱い

本研修の申込みに際し記載の個人情報については、研修業務及びセンタ一年報等におけるデータ集計、今後のセンター事業のお知らせの為に利用し、それ以外の目的に利用することはございません。

(お知らせが不要な場合はお申し出ください)

#### 11. お問い合わせ先

kango-centerfd@chiba-u.jp (千葉大学亥鼻地区事務部総務課総務第三係)

ご不明な点がありましたら、下記の形式でメールにてお問合せ下さい。

1週間以内に回答をいたしますが、回答が届かない場合は 043-226-2464 までお電話をお願いいたします。

《お問い合わせメールの形式》

・件名 :【問い合わせ】 レベルⅢ研修について

・本文 : ①受講生番号 (申込完了メールに記載された 25 から始まる 7 桁の番号)

・所属先

・氏名

・お問い合わせ内容